

1. 独立行政法人国立病院機構の概要

1. 設立

- 平成16年4月1日
- 独立行政法人国立病院機構法（平成14年法律第191号）を根拠法として設立された特定独立行政法人

2. 機構の行う業務

- ① 医療を提供すること
- ② 医療に関する調査及び研究を行うこと
- ③ 医療に関する技術者の研修を行うこと
- ④ 上記に付帯する業務を行うこと

3. 組織の規模（平成24年4月1日現在）

病院数 : 144病院
運営病床数 : 52,232床（全国シェア3.5%）

一般病床	療養病床	結核病床	精神病床	感染症病床	計
45,905	120	2,008	4,149	50	52,232

臨床研究センター : 12病院

臨床研究部 : 72病院

附属看護師等養成所

看護師課程 : 39校

助産師課程 : 5校

リハビリテーション学院 : 1校

☆国立病院機構の病床シェア

（政策医療のセーフティネット）

- 1 : 心神喪失者等医療観察法 : 61.9%
- 2 : 筋ジストロフィー : 95.7%
- 3 : 重症心身障害 : 39.6%
- 4 : 結核 : 37.3%

国立病院機構の理念

私たち国立病院機構は国民一人ひとりの健康と我が国の医療の向上のために、たゆまぬ意識改革を行い、健全な経営のもとに患者の目線に立って懇切丁寧に医療を提供し、質の高い臨床研究、教育研修の推進につとめます

4. 患者数（平成23年度実績）

入院患者数（1日平均） 44,069人（対22年度 △501人）

外来患者数（1日平均） 48,020人（対22年度 △23人）

5. 従業員数（常勤）

役員数 6人（平成24年4月1日現在）

職員数 53,700人（平成24年1月1日現在）

※医師6千人、看護師35千人、その他13千人

【看護職の副院長を2病院に設置】

6. 財務

各病院が自己の診療収入により収支相償を目指しています。平成23年度は、国立病院機構全体で経常利益458億円（経常収支率105.4%）であり、法人発足以降、経常収支プラスを維持しています。

また、個々の病院においても、法人発足時の平成16年度決算（経常収支）において74病院（再編成実施病院除く）あった赤字病院が、平成23年度決算では25病院（△49病院）となり、収支改善が進んでいます。

2. 国立高度専門医療研究センターの概要

法人名	(独) 国立がん研究センター (National Cancer Center)	(独) 国立循環器病研究センター (National Cerebral and Cardiovascular Center)	(独) 国立精神・神経医療研究センター (National Center of Neurology and Psychiatry)
理事長	堀田 知光	橋本 信夫	樋口 輝彦
所在地	①中央病院：東京都中央区築地5-1-1 ②東病院：千葉県柏市柏の葉6-5-1	大阪府吹田市藤白台5-7-1	東京都小平市小川東町4-1-1
組織 (概要)			
役員数	理事：5名以内、 監事：2名	理事：3名以内、 監事：2名	理事：4名以内、 監事：2名
常勤職員数 (注1)	1,662名	1,096名	703名
事業規模 (注2)	46,108百万円	26,086百万円	13,638百万円
病床数	①中央病院：600床 ②東病院：425床	618床	474床
事業内容	我が国のがん対策の中核的機関として、がんその他の悪性新生物に関し、研究・開発、医療提供、医療従事者の研修、情報発信、政策提言等を行う。	我が国における脳卒中、心臓病等の循環器病対策の中核的機関として、循環器病に関し、研究・開発、医療提供、医療従事者の研修、情報発信、政策提言等を行う。	我が国の精神・神経疾患対策の中核的機関として、精神、神経、筋疾患及び知的障害その他の発達障害に関し、研究・開発、医療提供、医療従事者の研修、情報発信、政策提言等を行う。

注1) 平成24年4月1日現在 注2) 年度計画に記載の経常費用額(平成24年度)

法人名	(独) 国立国際医療研究センター (National Center for Global Health and Medicine)	(独) 国立成育医療研究センター (National Center for Child Health and Development)	(独) 国立長寿医療研究センター (National Center for Geriatrics and Gerontology)
理事長	春日 雅人	五十嵐 隆	大島 伸一
所在地	①病院：東京都新宿区戸山1-21-1 ②国府台病院：千葉県市川市国府台1-7-1	東京都世田谷区大蔵2-10-1	愛知県大府市森岡町源吾35
組織 (概要)			
役員数	理事：6名以内、 監事：2名	理事：3名以内、 監事：2名	理事：3名以内、 監事：2名
常勤役員数 (注1)	1,695名	938名	452名
事業規模 (注2)	37,196百万円	20,928百万円	9,081百万円
病床数	①病院：801床 ②国府台病院：622床	490床	383床
事業内容	我が国の国際保健医療協力の中核的機関として、感染症等国際的な調査研究が必須な疾病に関し、研究・開発、医療提供、医療従事者の研修、情報発信、政策提言等を行う。	我が国の成育医療の中核的機関として、小児医療、母性医療、父性医療及び関連・境界領域を包括する成育医療に関し、研究・開発、医療提供、医療従事者の研修、情報発信、政策提言等を行う。	我が国の長寿医療の中核的機関として、加齢に伴う疾患に関し、研究・開発、医療提供、医療従事者の研修、情報発信、政策提言等を行う。

注1) 平成24年4月1日現在 注2) 年度計画に記載の経常費用額(平成24年度)

(独)国立がん研究センター

沿革・組織

創設: 昭和37年1月1日
所在地: 東京都中央区築地(中央病院)、
千葉県柏市(東病院)
主な組織: 研究所、中央病院、東病院、
がん予防・検診研究センター、がん対策情報センター
役員員数(常勤): 1,662名(平成24年4月1日現在)
病床数: 600床(中央病院)、425床(東病院)

設置目的

我が国のがん対策の中核的機関として、がんその他の悪性新生物についての調査、研究、医療技術の開発、医療の提供及び医療従事者の研修等を行う。

特徴

○質の高い医療の提供

- ・年間5,000件の手術、1日約120人の通院化学療法を実施(中央)
- ・陽子線治療等先進医療の提供と併せ、モデル的緩和ケアを提供(東)



○がんの原因・本態解明、革新的な検診法や診断・治療技術の開発、 がん医療の均てん化、がん情報の提供

- ・原因・本態解明を通じた予防法や高度先駆的な検診・診療技術の開発
- ・多施設共同臨床研究によるがん医療の標準化
- ・がん医療やがん登録など専門情報等の提供や研修等による人材育成



(独)国立循環器病研究センター

沿革・組織

創設：昭和52年6月1日
所在地：大阪府吹田市
主な組織：研究所、病院、研究開発基盤センター
役員員数（常勤）：1,096名（平成24年4月1日現在）
病床数：618床



設置目的

我が国の脳卒中、心臓病等の循環器病対策の中核的機関として、循環器病についての調査、研究、医療技術の開発、医療の提供及び医療従事者の研修等を行う。

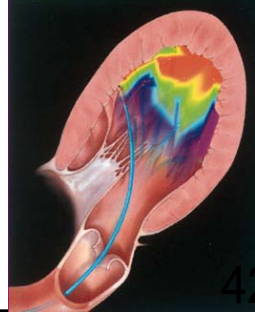
特徴

- 最新・最善の医療の提供
- ・年間約3,600件の重症循環器病救急搬送を受け入れ
- ・国内心移植125例のうち、45例を実施
- ・脳梗塞に対する超急性期血栓溶解療法（tPA静注療法）を年間50例以上実施



○先端医療技術の開発と普及

- ・在宅型体内埋め込み型人工心臓・次世代型呼吸補助装置の開発
- ・世界に先駆けて発見した生理活性ペプチド、タンパク質を診断・治療の開発へ応用
- ・1,600名以上の若手医師を育成、84カ国から900名以上の外国人研修生を受け入れ



(独)国立精神・神経医療研究センター

沿革・組織

創設：昭和61年10月1日

所在地：東京都小平市

主な組織：神経研究所、精神保健研究所、病院

役員員数(常勤)：703名(平成24年4月1日現在)

病床数：474床

設置目的

我が国の精神・神経疾患対策の中核的機関として、精神・神経疾患等についての調査、研究、医療技術の開発、医療の提供及び医療従事者の研修等を行う。

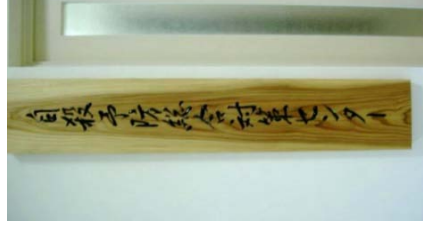
特徴

○脳とこころと身体の健全な統合を目指す医療の実践

- ・ 1日平均400名以上の精神・神経外来患者を受け入れ
- ・ 1万以上の筋検体を保存する、筋ジストロフィー確定診断の中核施設
- ・ パーキンソン病、筋ジス、難治性てんかん等神経難病、うつ病等難治性精神疾患に対する内科的、外科的治療の実施

○世界唯一の「精神・神経センター」として、統合的な精神・神経科学研究を実施

- ・ 多発性硬化症に対する画期的治療薬の開発
- ・ 筋ジストロフィーに対する遺伝子治療の推進
- ・ 自殺対策の研修及び情報提供、自殺の危険因子の解明



(独)国立国際医療研究センター

沿革・組織

- 創設：平成5年10月1日
所在地：東京都新宿区(センター病院)
千葉県市川市(国府台病院)
主な組織： 研究所、臨床研究センター、センター病院、
国府台病院、国際医療協力局、国立看護大学校
役員員数(常勤)：1,695名(平成24年4月1日現在)
病床数：801床(センター病院)、622床(国府台病院)

設置目的

我が国の医療分野における国際貢献の中核的機関として、感染症その他の疾患についての調査、研究、医療技術の開発、医療の提供及び医療従事者の研修等を行う。

特徴

- 高度総合専門医療の提供
- ・1日約1,600名の外来患者の受け入れ、年間約11,000件の手術の実施(センター病院)
- ・月平均約1,000名のエイズ外来患者の受け入れ(センター病院)
- ・児童精神科のほか、肝炎・免疫研究センターを整備し、専門医療を提供(国府台病院)

○国際医療協力の実践、研究の実施

- ・途上国へ年間約200名の専門家派遣、約300名の研修生受け入れ
 - ・海外拠点との共同研究により、鳥インフルエンザ迅速診断キットを開発
- A2 ウイルス肝炎治療の有効性を治療前遺伝子診断で判定
- B2 2型糖尿病関連遺伝子の同定



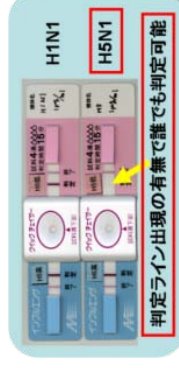
(センター病院)



(国府台病院 平成24年度完成予定)



(特定感染症病床)



判定ライン出現の有無で誰でも判定可能

(独)国立成育医療研究センター

沿革・組織

創設：平成14年3月1日
所在地：東京都世田谷区
主な組織：研究所、病院、臨床研究センター
役員員数（常勤）：938名（平成24年4月1日現在）
病床数：490床

設置目的

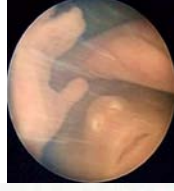
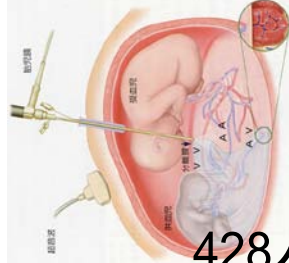
我が国の成育医療の中核的機関として、小児医療、母性医療、父性医療及び関連・境界領域を包括する成育医療についての調査、研究、医療技術の開発、医療の提供及び医療従事者の研修等を行う。

特徴

- 成育医療における高度先駆的医療やモデル医療の提供
- ・年間1,600件以上の分娩、年間約6,600件の小児手術を実践
- ・小児ICU等を活用した24時間365日体制の重症小児救急搬送の受け入れ
- ・虐待等を含めた小児のこころのケア

○成育医療を発展させるTR等の研究の推進

- ・超音波や胎児内視鏡を用いた胎児医療の実施
- ・免疫異常等小児難病に対する遺伝子治療の開発
- ・iPS細胞、ES細胞を用いた再生医療の推進
- ・妊娠と薬の情報提供や子どもの事故防止プログラムの提供



(独)国立長寿医療研究センター

沿革・組織

創設：平成16年3月1日
所在地：愛知県大府市
主な組織：研究所、病院
役員員数(常勤)：452名(平成24年4月1日現在)
病床数：383床

設置目的

我が国の長寿医療の中核的機関として、加齢に伴って生じる心身の変化に起因する疾患であって、高齢者が自立した日常生活を営むために特に治療を必要とするものに関する調査、研究、医療技術の開発、医療の提供及び医療従事者の研修等を行う。

特徴

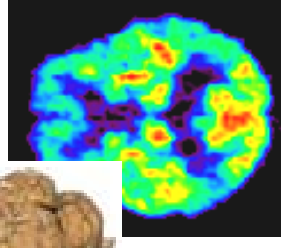
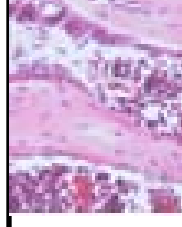
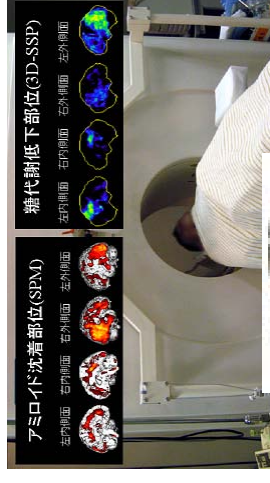
○ 高齢者疾患の包括的・全人的医療の提供

- ・高齢者の生活の質を向上に向けた医療の提供
- ・地域の保健・医療・福祉と連携した在宅医療モデルの開発・提供
- ・認知症の早期診断法の開発等の先駆的医療の提供



○ 老化の制御と老年病克服のための新しい医療の発展の普及に尽力

- ・認知症、骨粗鬆症の病態解明と新規治療法の開発
- ・再生医療による革新的歯科治療技術の開発
- ・全国の医師に研修を実施、年間約400名の「認知症サポート医」を養成



3. 国立ハンセン病療養所の概要

1 ハンセン病療養所における医療

国立ハンセン病療養所の入所者の平均年齢は82.1歳（平成24年5月現在）と高齢化に伴い、ハンセン病の後遺症に加え、生活習慣病等の合併症、身体機能や視覚機能の低下等により、日常生活の不自由度の進行や医療の必要性と多様性が増している。

この様な実状を踏まえ、療養所内におけるプライマリーケア、リハビリテーション機能の充実を図るとともに、療養所内で対応できない専門的な医療については、療養所外の医療機関と連携して行う委託治療の充実に努めている。

2 国立ハンセン病療養所の現状

○ 施設数	13か所			開設年月（公立時を含む）
国立療養所	松丘保養園	青森県	青森市	明治42年4月
国立療養所	東北新生園	宮城県	登米市	昭和14年10月
国立療養所	栗生楽泉園	群馬県	草津町	昭和7年11月
国立療養所	多磨全生園	東京都	東村山市	明治42年9月
国立療養所	駿河療養所	静岡県	御殿場市	昭和19年12月
国立療養所	長島愛生園	岡山県	瀬戸内市	昭和5年11月
国立療養所	邑久光明園	岡山県	瀬戸内市	明治42年4月
				※ 台風被害：昭和15年3月現地で再興
国立療養所	大島青松園	香川県	高松市	明治42年4月
国立療養所	菊池恵楓園	熊本県	合志市	明治42年4月
国立療養所	星塚敬愛園	鹿児島県	鹿屋市	昭和10年10月
国立療養所	奄美和光園	鹿児島県	奄美市	昭和18年4月
国立療養所	沖縄愛楽園	沖縄県	名護市	昭和13年2月
国立療養所	宮古南静園	沖縄県	宮古島市	昭和6年3月

- 入所者数 2,134人（24年5月1日現在）
- 平均年齢 82.1歳（24年5月1日現在）
- 職員定数 2,912人（24年度末定員）
- 予算額 340億円（24年度予算）